



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月28日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 杉本 達哉 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	281,857	10.4	23,225	21.2	24,092	17.2	18,294	42.5
2022年3月期第2四半期	255,224	42.2	19,156	—	20,556	—	12,840	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 19,251百万円(25.9%) 2022年3月期第2四半期 15,294百万円(277.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	429.18	—
2022年3月期第2四半期	301.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	757,206	379,499	45.3
2022年3月期	728,187	365,004	45.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 343,043百万円 2022年3月期 329,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	80.00	—	100.00	180.00
2023年3月期	—	100.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	7.6	45,000	21.7	46,000	17.3	34,000	26.4	797.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	43,448,769株	2022年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	822,299株	2022年3月期	822,129株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	42,626,523株	2022年3月期2Q	42,627,149株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進む中で、景気を持ち直しが期待されましたが、ウクライナ情勢の長期化に起因する原燃料供給の制約や世界的な物価上昇、また急激な為替の円安に伴う混乱など景気の下振れリスクが充満した不透明な経営環境が続いております。

このような状況の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、半導体や部品の供給不足に加え、中国におけるロックダウンの影響により、前年同期比で減少しました。同様に産業機械の受注も、供給制約の影響を受け減少基調となりましたが、半導体関連の受注は、5Gの普及やデータセンターの建設・更新需要により堅調に推移しました。この結果、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。

一方、主要原材料である鉄屑価格は、国際価格の上昇により前年同期比では高値で推移し、ニッケルなどの各種合金類についても供給制約により価格が上昇しました。また原油・LNG価格高騰により電力などエネルギーコストも増大しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比266億32百万円増収の2,818億57百万円、経常利益は前年同期比35億36百万円増益の240億92百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比54億54百万円増益の182億94百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注減少を受け、前年同期比で数量が減少しました。工具鋼も、自動車減産の影響により、前年同期比で数量が減少しました。主要原材料である鉄屑価格は、国際価格の上昇により前年同期に対して高値で推移し、エネルギーコストも原油価格の高騰により増大しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量は減少したものの、原材料価格の上昇を販売価格に反映させたことにより前年同期比10.3%増加の1,027億40百万円、営業利益は、前年同期比27億81百万円増益の42億23百万円となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、自動車関連向け需要は調整局面にあったものの、半導体関連や電気電子関係の受注が堅調に推移し、前年同期比で数量が増加しました。磁石製品は、自動車減産の影響を受け、売上高は前年同期比で減少しました。粉末製品は、自動車減産により数量は減少したものの、ニッケルなどの価格上昇を販売価格に反映させたことで、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における機能材料・磁性材料の売上高は、ステンレス鋼の売上数量の増加およびニッケルなどの各種合金の価格上昇により前年同期比15.6%増加の1,095億66百万円、営業利益は前年同期比4億83百万円減益の134億37百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品・型鍛造品は、自動車減産の影響を受け、精密鍛造品は、自動車生産の減少に伴うターボ関連製品の需要が減少し、それぞれ売上高は前年同期比で減少しました。一方、自由鍛造品は、半導体関連や船舶用バルブが好調に推移し、航空機需要も回復の兆しが出てきたことから、売上高は前年同期比で増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における自動車部品・産業機械部品の売上高は、自由鍛造品の売上高増加により前年同期比6.4%増加の494億85百万円、営業利益は前年同期比2億34百万円増益の33億62百万円となりました。

④エンジニアリング

自動車部品向け熱処理炉の受注は増加しましたが、前年同期に大口案件があったことなどから、当第2四半期連結累計期間におけるエンジニアリングの売上高は、前年同期比4.5%減少の83億36百万円となりました。営業利益については、前年同期比11億22百万円増益の4億12百万円となりました。

⑤流通・サービス

当第2四半期連結累計期間における流通・サービスの売上高は、前年同期比2.7%減少の117億27百万円、営業利益は前年同期比4億28百万円増益の18億16百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ290億19百万円増加し7,572億6百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「棚卸資産」の増加276億57百万円、減少の主な内訳は、「投資有価証券」の減少58億39百万円であります。

総資産の増減の主な内訳と要因は、下記のとおりであります。

- ・「棚卸資産」は、主として原材料市況の高騰により増加しております。
- ・「投資有価証券」は、保有株式の時価の下落により減少しております。

また、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ144億95百万円増加し3,794億99百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益182億94百万円の計上等による「利益剰余金」の増加140億30百万円であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は45.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

金融引締め等による海外景気の下振れリスクや、ウクライナ情勢を始めとした地政学リスクの高まりなど不透明な経営環境が継続すると見込まれます。当社の主要需要先である自動車関連の受注は、半導体や部品の供給不足により調整局面が継続する可能性があり、先行きについても慎重に見ていく必要があります。同様に、産業機械の受注についても、サプライチェーンの影響を注視していく必要があります。また、コスト面についても円安進展に伴う各種調達コストの上昇やLNG市況の逼迫に伴うエネルギーコストの更なる上昇も想定され、徹底したコスト削減努力を継続するとともに、再生産可能な価格水準に向けた販売価格の是正を実施してまいります。

当期の連結業績につきましては、当初想定した原材料価格の高騰が落ち着きを見せていることや自由鍛造品等の輸出製品が好調に推移していることを踏まえて、前回(2022年4月28日)公表した業績予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,142	56,858
受取手形、売掛金及び契約資産	125,502	128,720
電子記録債権	24,345	29,469
棚卸資産	174,624	202,282
その他	9,150	8,429
貸倒引当金	△78	△51
流動資産合計	391,686	425,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	78,832	79,382
機械装置及び運搬具（純額）	95,232	91,963
その他（純額）	49,636	50,665
有形固定資産合計	223,701	222,011
無形固定資産	3,776	4,206
投資その他の資産		
投資有価証券	86,456	80,616
退職給付に係る資産	15,840	15,809
その他	6,799	8,922
貸倒引当金	△73	△67
投資その他の資産合計	109,022	105,280
固定資産合計	336,500	331,498
資産合計	728,187	757,206

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,847	51,523
電子記録債務	11,321	11,141
短期借入金	84,562	102,805
コマーシャル・ペーパー	47,000	40,000
未払法人税等	10,157	6,040
賞与引当金	7,789	7,994
その他の引当金	528	409
その他	14,896	17,129
流動負債合計	230,104	237,045
固定負債		
社債	25,000	35,000
長期借入金	69,911	69,685
その他の引当金	4,240	3,857
退職給付に係る負債	13,402	13,595
その他	20,524	18,523
固定負債合計	133,078	140,661
負債合計	363,183	377,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	31,228	31,228
利益剰余金	238,443	252,473
自己株式	△3,663	△3,664
株主資本合計	303,179	317,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,323	17,576
繰延ヘッジ損益	10	25
土地再評価差額金	657	657
為替換算調整勘定	4,968	8,081
退職給付に係る調整累計額	△426	△508
その他の包括利益累計額合計	26,533	25,832
非支配株主持分	35,290	36,456
純資産合計	365,004	379,499
負債純資産合計	728,187	757,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	255,224	281,857
売上原価	209,209	230,921
売上総利益	46,015	50,935
販売費及び一般管理費	26,858	27,710
営業利益	19,156	23,225
営業外収益		
受取利息	72	80
受取配当金	1,019	1,182
持分法による投資利益	395	306
為替差益	123	—
その他	1,004	882
営業外収益合計	2,615	2,451
営業外費用		
支払利息	397	434
固定資産除却損	277	359
為替差損	—	191
環境対策費	239	174
環境対策引当金繰入額	40	16
その他	259	408
営業外費用合計	1,215	1,583
経常利益	20,556	24,092
特別利益		
投資有価証券売却益	—	43
特別利益合計	—	43
特別損失		
減損損失	—	450
事業整理損	424	—
特別損失合計	424	450
税金等調整前四半期純利益	20,132	23,686
法人税、住民税及び事業税	5,668	6,556
法人税等調整額	△24	△2,330
法人税等合計	5,643	4,225
四半期純利益	14,488	19,460
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,648	1,166
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,840	18,294

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	14,488	19,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△673	△3,718
繰延ヘッジ損益	4	13
為替換算調整勘定	1,378	3,549
退職給付に係る調整額	72	△69
持分法適用会社に対する持分相当額	25	15
その他の包括利益合計	806	△209
四半期包括利益	15,294	19,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,448	17,593
非支配株主に係る四半期包括利益	1,846	1,657

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,132	23,686
減価償却費	13,469	12,988
減損損失	—	450
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△22	△36
賞与引当金の増減額 (△は減少)	105	183
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△1,056	△500
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△8	△90
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	333	209
受取利息及び受取配当金	△1,091	△1,262
支払利息	397	434
為替差損益 (△は益)	△53	△692
持分法による投資損益 (△は益)	△395	△306
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△39
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	6
有形固定資産除却損	276	364
有形固定資産売却損益 (△は益)	△31	△91
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△10,544	△6,936
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21,999	△25,717
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,965	△3,922
その他	△1,960	3,393
小計	△8,415	2,118
利息及び配当金の受取額	1,119	1,334
利息の支払額	△396	△427
法人税等の支払額	△1,461	△10,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,153	△7,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△567	△50
定期預金の払戻による収入	281	252
有形固定資産の取得による支出	△9,391	△10,072
有形固定資産の売却による収入	42	206
投資有価証券の取得による支出	△8	△11
投資有価証券の売却による収入	0	374
貸付けによる支出	△5	△16
貸付金の回収による収入	19	18
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△524	—
その他	△655	△1,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,810	△10,446

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,528	6,740
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	5,000	△7,000
長期借入れによる収入	3,300	22,000
長期借入金の返済による支出	△4,666	△11,507
社債の発行による収入	—	10,000
自己株式の取得による支出	△2	△1
子会社の自己株式の取得による支出	△212	△0
配当金の支払額	△1,068	△4,259
非支配株主への配当金の支払額	△418	△535
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△30	—
その他	△304	△290
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,126	15,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	417	1,734
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,419	△1,199
現金及び現金同等物の期首残高	65,558	55,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,139	54,444

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社および一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税並びに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	93,168	94,756	46,521	8,732	12,047	255,224	—	255,224
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	34,071	7,288	13,738	224	6,551	61,875	△61,875	—
計	127,239	102,044	60,259	8,956	18,599	317,100	△61,875	255,224
セグメント利益 又は損失(△)	1,441	13,921	3,127	△709	1,387	19,168	△11	19,156

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

一部の連結子会社14社について、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更、または四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更したことに伴い、当第2四半期連結累計期間は、主として2021年1月1日から2021年9月30日までの9か月間を連結しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の「特殊鋼鋼材」における売上高は1,504百万円増加、セグメント利益は105百万円増加し、「機能材料・磁性材料」における売上高は2,526百万円増加、セグメント利益は158百万円増加し、「自動車部品・産業機械部品」における売上高は3,850百万円増加、セグメント利益は454百万円増加し、「流通・サービス」における売上高は4,640百万円増加、セグメント利益は179百万円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	102,740	109,566	49,485	8,336	11,727	281,857	—	281,857
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	41,363	8,831	18,088	287	8,547	77,118	△77,118	—
計	144,103	118,398	67,574	8,624	20,275	358,976	△77,118	281,857
セグメント利益	4,223	13,437	3,362	412	1,816	23,251	△26	23,225

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料

(1) 当第2四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2022年9月 第2四半期	前年同期差 増減額 (増減率)	2022年9月 第2四半期	前年同期差 増減額
特殊鋼鋼材	102,740	9,572 (10.3%)	4,223	2,781
機能材料・磁性材料	109,566	14,810 (15.6%)	13,437	-483
自動車・産業機械部品	49,485	2,964 (6.4%)	3,362	234
エンジニアリング	8,336	-395 (-4.5%)	412	1,122
流通・サービス	11,727	-319 (-2.7%)	1,816	428
調整	—	—	△26	-15
計	281,857	26,632 (10.4%)	23,225	4,068

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	2022年9月 第2四半期	前年同期差 増減額 (増減率)
売上高	281,857	26,632 (10.4%)
営業利益	23,225	4,068 (21.2%)
営業外損益	867	-532
経常利益	24,092	3,536 (17.2%)
特別損益	△406	18
税引前純利益	23,686	3,554
法人税等	4,225	-1,417
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,166	-482
親会社株主に帰属する 当期純利益	18,294	5,454 (42.5%)

(鋼材売上数量(単体) 540千t、前年同期差 94千t減)

(3) 当第2四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売価格は正	356	1. 原燃料等市況	334
2. 内容構成差他	112	2. 販売数量減少	72
		3. 変動費悪化	7
		4. 固定費増加	6
		5. 前期決算期変更	9
		6. 営業外損益	5
計(a)	468	計(b)	433
		差引(a)-(b)	35

	2021年9月 第2四半期	2022年9月 第2四半期
H2建値 (千円/t)	44.0	48.2
ニッケル(LME) (\$/lb)	8.3	11.6
為替レート(TTM) (円/\$)	110.8	134.0

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2022年 3月末	当第2四半期 2022年 9月末	増減	科目	前期 2022年 3月末	当第2四半期 2022年 9月末	増減
流動資産	391,686	425,708	34,021	負債	363,183	377,707	14,524
現預金	58,142	56,858	-1,283	営業債務	65,169	62,665	-2,504
営業債権	149,848	158,190	8,341	有利子負債	229,090	250,076	20,985
棚卸資産	174,624	202,282	27,657	その他	68,922	64,965	-3,957
その他	9,071	8,377	-693				
固定資産	336,500	331,498	-5,002	純資産	365,004	379,499	14,495
有形固定資産	223,701	222,011	-1,689	株主資本	303,179	317,210	14,030
無形固定資産	3,776	4,206	429	その他の包括利益 累計額	26,533	25,832	-700
投資その他の資産	109,022	105,280	-3,742	非支配株主持分	35,290	36,456	1,165
資産合計	728,187	757,206	29,019	負債純資産合計	728,187	757,206	29,019

(5) 予想セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	予想 2023年 3月期	前期差 増減額 (増減率)	予想 2023年 3月期	前期差 増減額
特殊鋼鋼材	210,000	12,196 (6.2%)	8,000	4,172
機能材料・磁性材料	215,000	17,395 (8.8%)	24,000	-2,650
自動車・産業機械部品	105,000	12,495 (13.5%)	9,000	4,020
エンジニアリング	18,000	-214 (-1.2%)	1,000	2,277
流通・サービス	22,000	-1,540 (-6.5%)	3,000	165
調整	—	—	—	31
計	570,000	40,332 (7.6%)	45,000	8,017

(鋼材売上数量(単体) 1,090千t、前期差 163千t減)

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 2023年 3月期	前期差 増減額 (増減率)
売上高	570,000	40,332 (7.6%)
営業利益	45,000	8,017 (21.7%)
経常利益	46,000	6,799 (17.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	34,000	7,105 (26.4%)

(7) 予想経常利益増減要因 (前期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	前期 2022年3月期	予想 2023年3月期
1. 販売価格是正	649	1. 原燃料等市況	567		
2. 内容構成差他	197	2. 販売数量減少	149	H2 建値 (千円/t)	47.6
		3. 変動費悪化	13	ニッケル(LME) (\$/1b)	9.3
		4. 固定費増加	28	為替レート(TTM) (円/\$)	113.4
		5. 前期決算期変更	9		137.0
		6. 営業外損益	12		
計(a)	846	計(b)	778		
		差引(a) - (b)	68		

(8) 設備投資額 (工事ベース) および減価償却費

(単位：百万円)

	前期(2022年3月期)		当期(2023年3月期)		増減額	
	上半期	通期	上半期	通期予想	上半期	通期
設備投資額	10,172	21,027	11,077	24,900	905	3,872
減価償却費	13,469	26,797	12,988	26,300	-480	-497

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想 2023年3月期
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
売上高	543,255	490,421	412,722	529,667	570,000
営業利益	33,815	24,768	10,070	36,982	45,000
経常利益	34,343	24,298	12,642	39,200	46,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	21,182	10,987	4,516	26,894	34,000